

本郷中学校区 小中一貫教育の取組

1 研究テーマ

「主体的に深く学び、心豊かにたくましく
生きる児童生徒の育成」～9年間を見通
した学びと育ちの連続性を通して～



(小学校への出前授業・数学)

2 目指す児童生徒像

「自ら考え自ら学び、確かな学力を身につ
け、生きる力を備える児童生徒」

3 乗り入れ授業を行っている教科領域

- (1) 本郷中学校英語科教員の小学校外国語授業への支援（中学校からの学習
乗り入れ）
- (2) 小学6年生の出前授業の実施（水谷小 音楽・みずほ台小 数学の実施）
- (3) 特別支援学級の合同授業（中学校が主体となる授業に小学校の特学の児
童が参加）
- (4) 本郷中学校入学説明会において小学6年生のレディネステスト実施（国
語・算数の実施）

4 カリキュラム編成に手を掛けている教科領域

- (1) 学力・体力の向上策の共有と実践
- (2) 小中一貫した英語指導の研究と実践
- (3) 「家庭学習の手引き」を活用した家庭学習の指導法の研究と実践

5 行っている交流事業

- (1) 夏季休業中、中学生が小学生を学習指導
- (2) 合同職員研修の実施（小中一貫教育各研究部会議）
- (3) 中学生はつらつ社会体験における小学校との連携
- (4) 5校合同あいさつ運動の推進
- (5) 小中交流音楽会で中学3年・小学6年との合唱交流
- (6) 中学校英語科教員の小学校への派遣
- (7) 中学校さわやか相談員の小学校への派遣
- (8) 中学校職員の小学校授業参観
- (9) 小学6年生のレディネステスト（国語・算数）の実施
- (10) 特別支援学級の交流授業の実施
- (11) 小中連絡会を各学期に1回の実施

6 今年度の成果と課題

【成果】

本郷中学校区小中学校のみならず、水谷中学校区との教職員が互いに連携、協力、研修、実践、振り返りをし、各研究部会の共通理解・行動を通して9年間を見通した一貫教育指導の足がかりを作ることができた。実践を通して教育効果が必ず上がる実感を持つことができ、全体研究発表会において各研究部の実践および達成について共有することができた。

【課題】

小中一貫教育を推進していくには、各事業や各研究部会での打合せを早く計画的に管理職が、検討・調整・決定していく必要がある。各学校での行事等の合間を見計らい、日程を設定していかなければならない。

また、小中一貫教育の必要性が今、必須であることを教職員に研修等を通じて認識を深めさせることで、各事業への熱がさらに高まっていくと考える。